

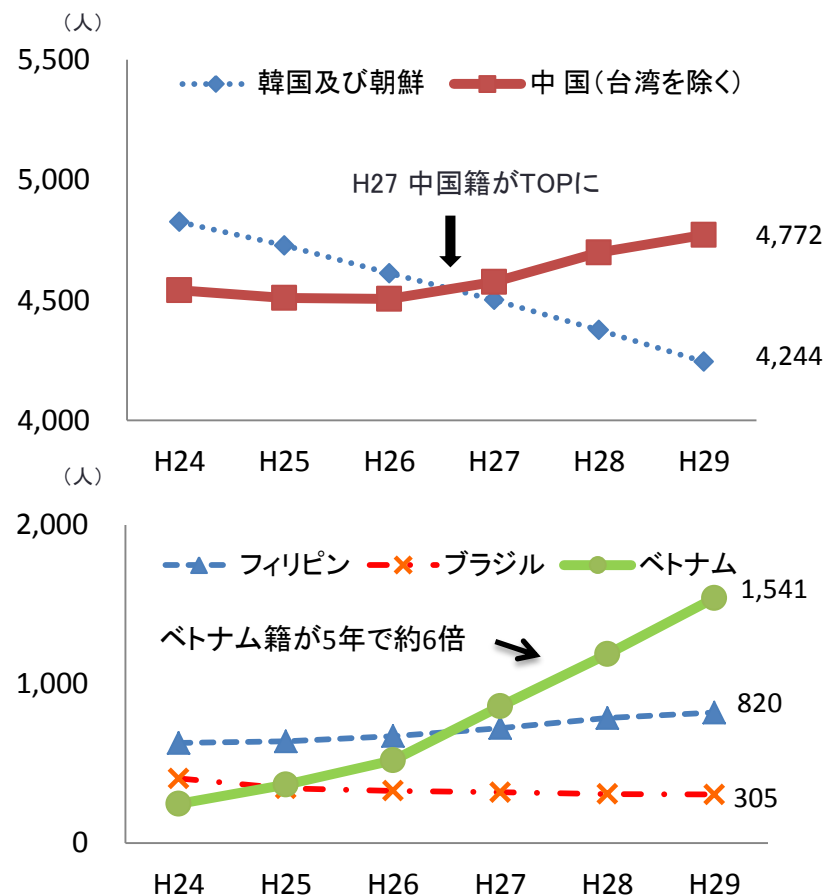
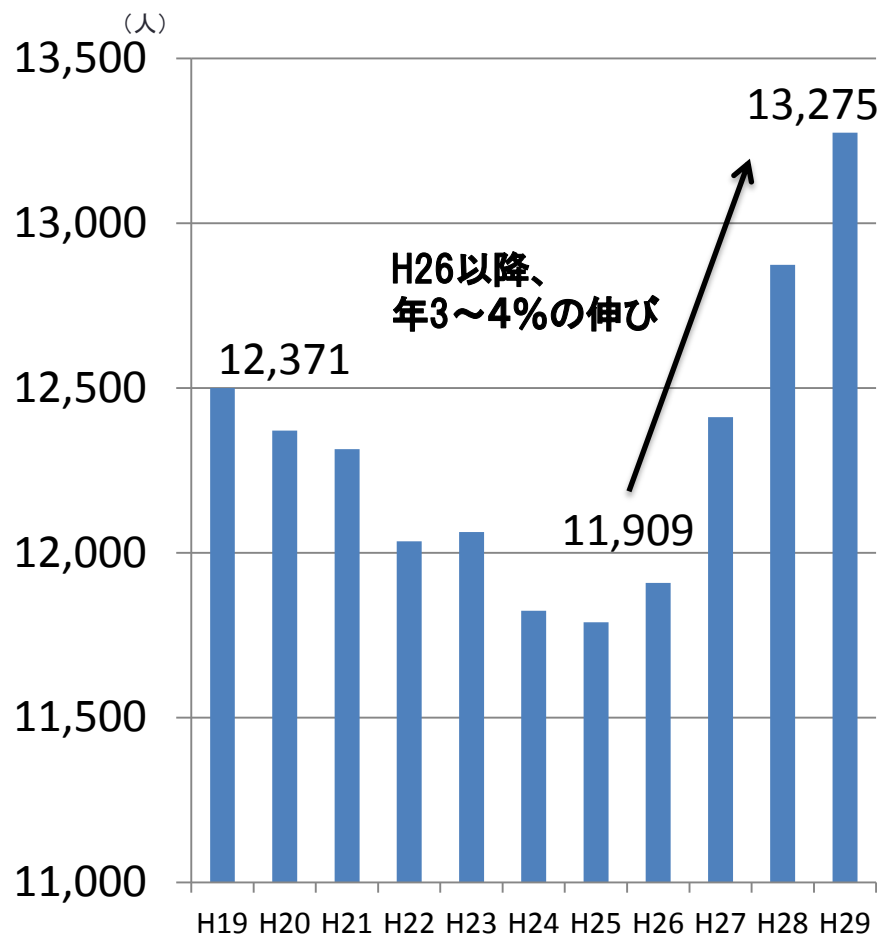
堺市における 日本語教育事業体制と人材育成

堺市文化観光局国際部国際課
瀬川万有美

大阪府堺市

人口: 831,521人(2018年7月1日現在)

外国人人口: 13,567人(2018年6月末現在) 外国人市民比率: 1.6%



多文化共生・日本語教育事業の位置づけ

【地域特色】

■多文化共生全体

- ・ 地域国際化協会がない
- ・ 多文化共生や国際交流の拠点がなかった（～2010年）

■日本語教室

- ・ 民間団体による自発的な教室が展開されている
 - ※2018年、15教室が開催（子ども対象2教室、成人対象13教室）
- ・ 堺市が主催する日本語教室はなかった（～2013年）

【堺市情勢】

■2006年 政令指定都市に移行

■2008年 堺市国際化推進プラン策定

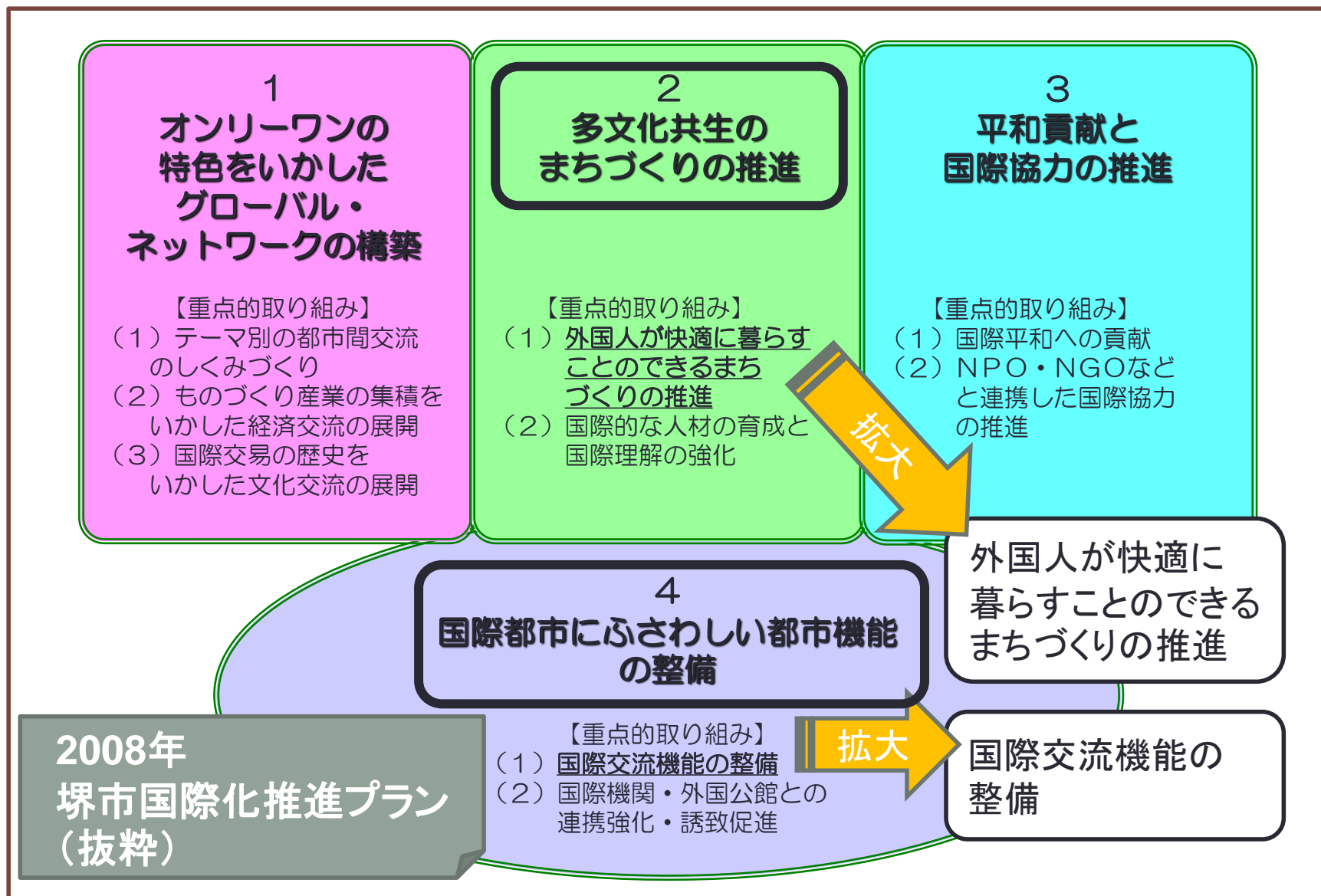
2013年 堺市国際化推進プラン（改訂版）策定

2018年 堺市国際化推進プラン（改訂版）追補版策定

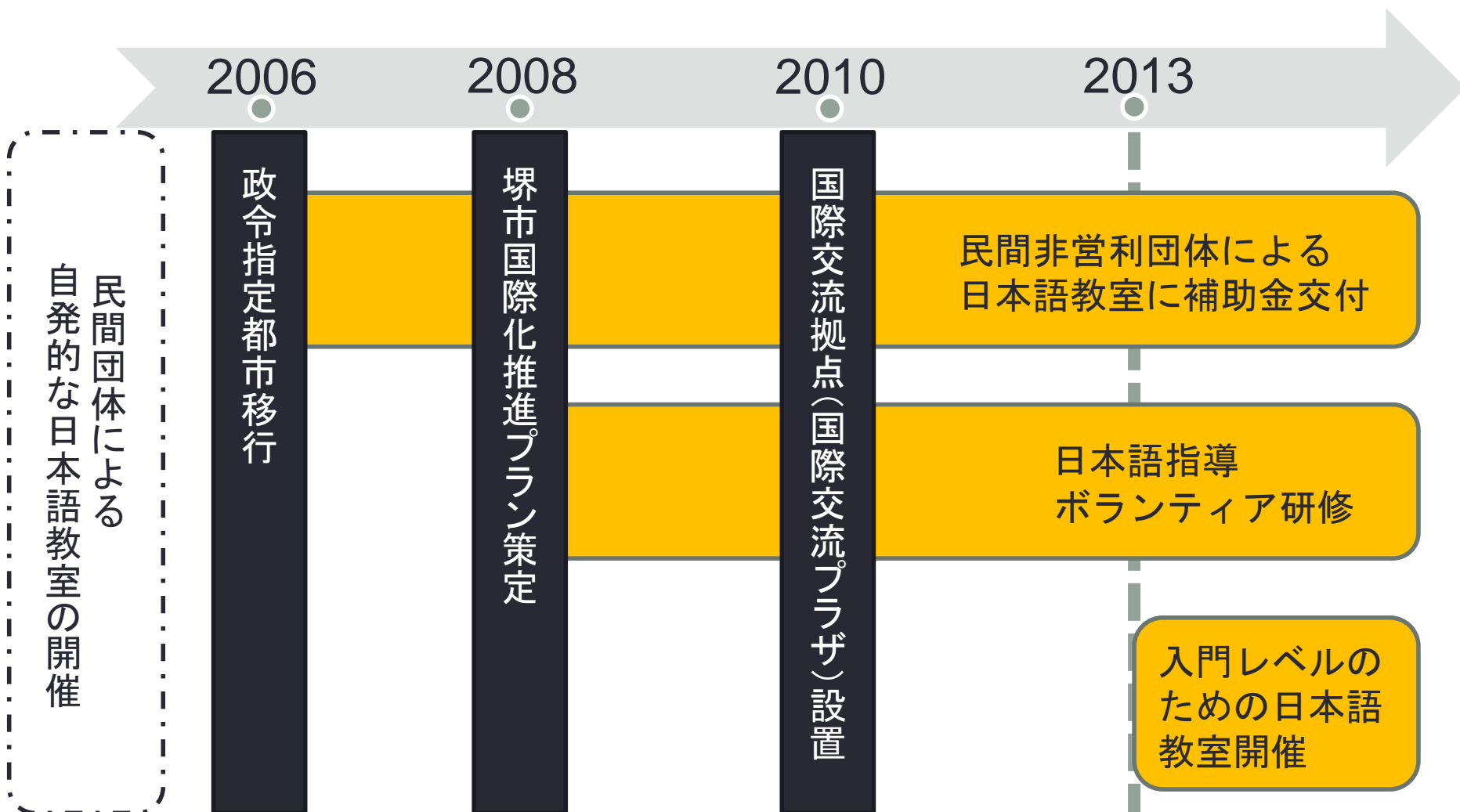
【堺市ホームページに掲載】

<http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/kokusai/suishin/kokusai/kokusaikakeikaku/purankaiteihan.html>

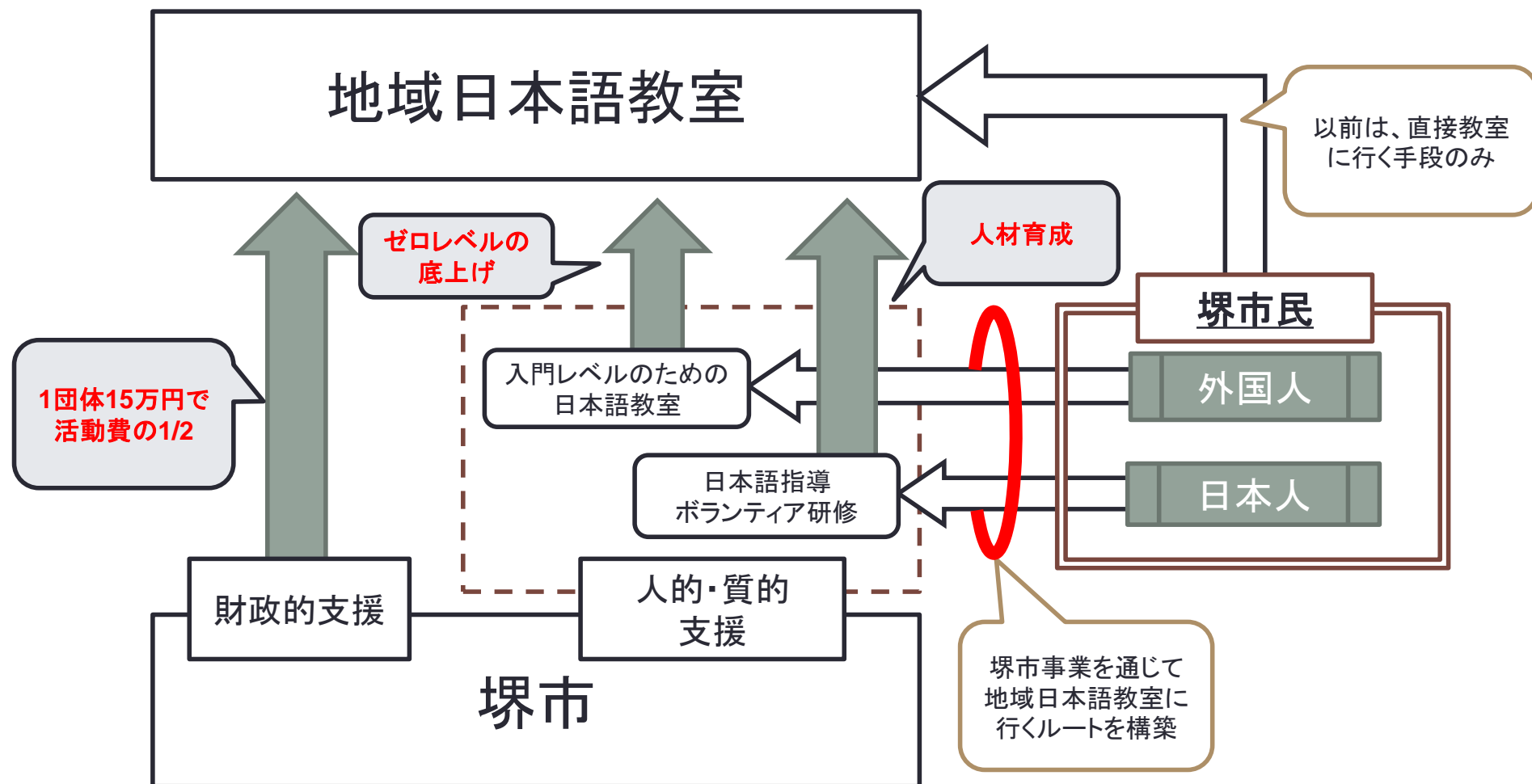
多文化共生・日本語教育事業の位置づけ



地域日本語教育の体制整備に向けた取組みの経緯



現在の日本語教育事業の体制



日本語学習支援者の育成 I

日本語指導ボランティア研修

【目的】 ①地域日本語教室等で活動する日本語指導ボランティアの裾野を広げる

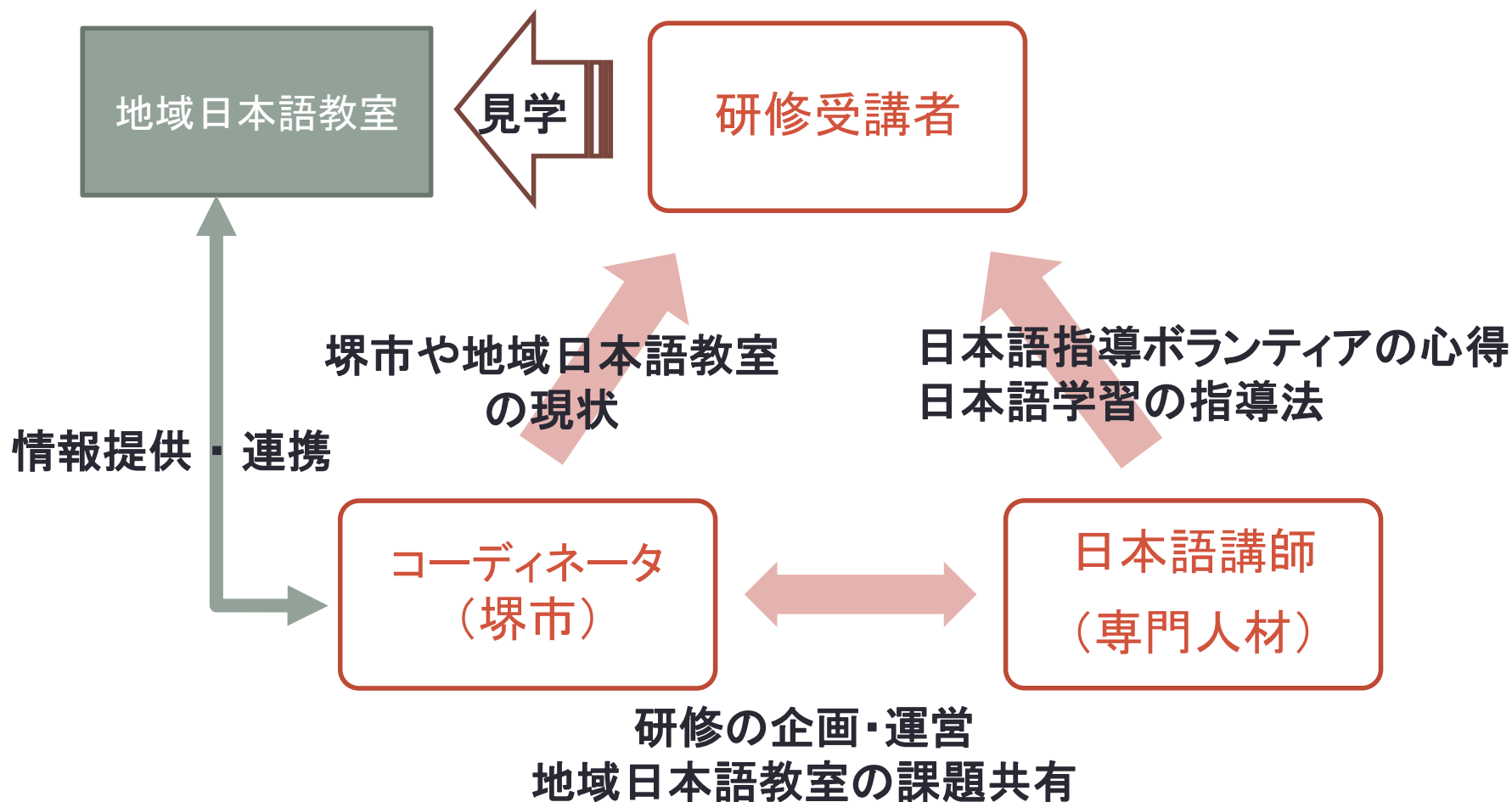
②現在活動中の日本語指導ボランティアのスキル向上を図る

【対象】 ①日本語指導ボランティアに関心があり、地域日本語教室等での活動の意思がある方

②地域日本語教室等で活動中の方

	講座名	得てもらいたいこと
1	日本語指導ボランティアって何？ ～市内日本語学習支援の状況と日本語指導ボランティアの役割～	日本語指導ボランティアの役割
2	外国語が話せなくても学習支援ができる？～外国人と話すコツ～	やさしい日本語
3	知っておくと役に立つ日本語文法の基礎知識①～「動詞」と「形容詞」～	基礎的な文法知識
4	知っておくと役に立つ日本語文法の基礎知識②～初級文型を見てみよう～	
5	地域日本語教室での活動方法①～初級テキストを使った活動～	日本語学習支援法 (基礎編)
6	地域日本語教室での活動方法② ～コミュニケーション力を伸ばす対話型活動～	
-	地域日本語教室見学 (3～4週間)	活動のイメージを持つ
7	地域日本語教室に合った初級テキストの活用法 ～楽しく、学習者のニーズに合った活動を考えよう～	日本語学習支援法 (応用編)
8	ほとんど話せない学習者との活動	
9	実践活動に向けて	活動に対する疑問や不安の払拭

日本語指導ボランティア研修 人材スキーム



日本語学習支援者の育成Ⅱ

入門レベルのための日本語教室

■形態

1対複数のクラスレッスン。教授者はプロの日本語教師(専門人材)。

また、この場を日本語指導ボランティアの実践研修の場と位置づけ、市内日本語教室から公募で選出したボランティアが授業に参加し、口頭練習等の手伝いをする。

■「日本語教室」 目的と対象

【目的】日本語学習を必要とする外国人の需要を掘り起こし、地域に溶け込めるよう支援する。

【対象】市内在住・在勤・在学の日本語を母語とせず、日本語能力が入門レベルである成人。

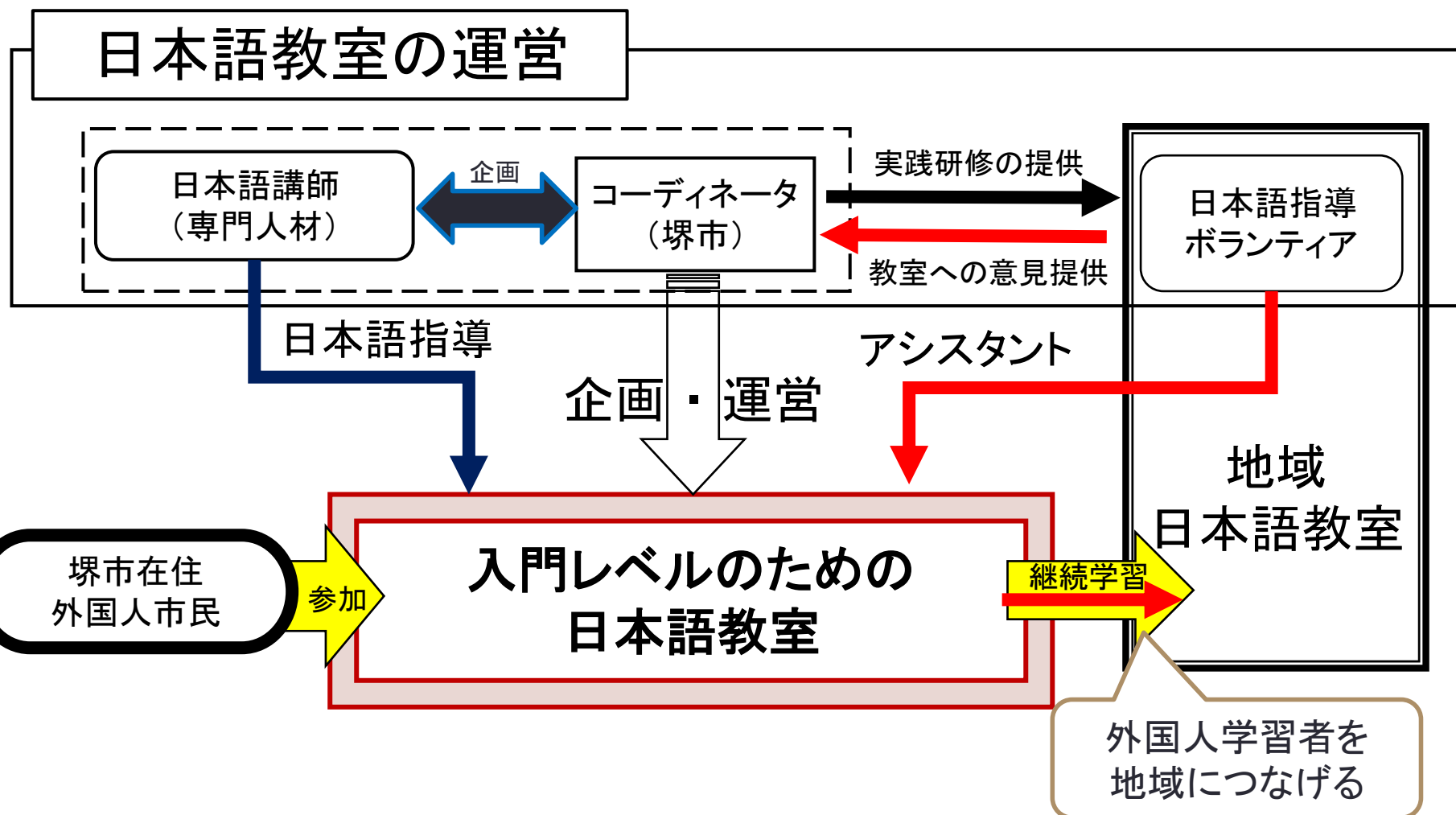
■「日本語指導ボランティア研修」 目的と対象

【目的】授業への参加過程で得たものを所属教室に持ち帰る

【対象】市内日本語教室のボランティアで、所属教室での活動に研修の成果を活かす意思のある人。

事業を通じて、行政とボランティア、ボランティア同士の顔の見える関係作りを進める

入門レベルのための日本語教室 人材スキーム



日本語学習支援者の育成Ⅱ

入門レベルのための日本語教室

【目的】日本語学習を必要とする外国人の需要を掘り起こし、地域に溶け込めるよう支援する。

【対象】市内在住・在勤・在学の日本語を母語とせず、日本語能力が入門レベルである成人。

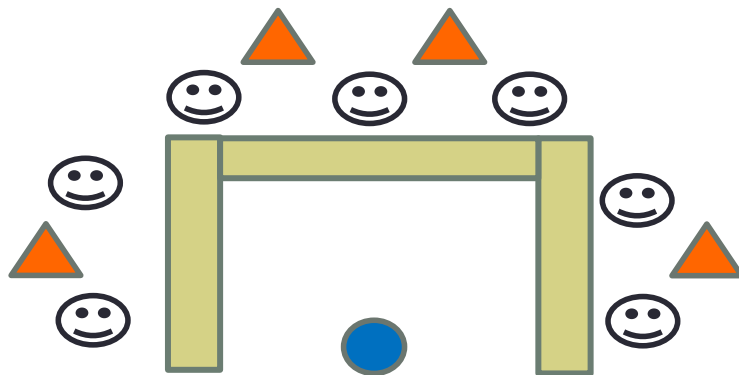
【カリキュラム】

火曜日（コの字型）		金曜日（グループ活動）	
『つながるにほんご』 （自己表現の日本語～習得～）		『ばめんのにほんご』 （場面会話）	トピック会話 （自己表現の日本語～実践～）
	-	1	初日ガイダンスと簡単な自己紹介
2	1課 はじめまして	3	「今日は休みます」 「わたしはこんな人」
4	2課 目玉焼きが好きです	5	「京都までいくらですか」 「私の好きな物」
6	3課 毎朝、6時半に起きます	7	「これをください」 「私の一日」
8	4課 友達と晩ご飯を食べました	9	「レストランは どこですか」 「店」
10	5課 一緒に見に行きませんか	11	「電車の中に忘れ物を しました」 交流会
12	6課 買い物に行きました	13	「どうしましたか」 「買い物」
14	7課 ベトナムに住んでいます	15	発表会 「家族」 / 修了式

日本語学習支援者の育成Ⅱ

入門レベルのための日本語教室(火曜日)

「つながるにほんご(自己表現の日本語~習得~)」



●【教授者(専門人材)】

- ・テキストの内容を学習者に理解させる
- ・口頭練習及び練習の指示をする

▲【アシスタント(学習支援者)】

- ・学習者の練習相手・練習補助
- ・授業についていけない学習者のサポート

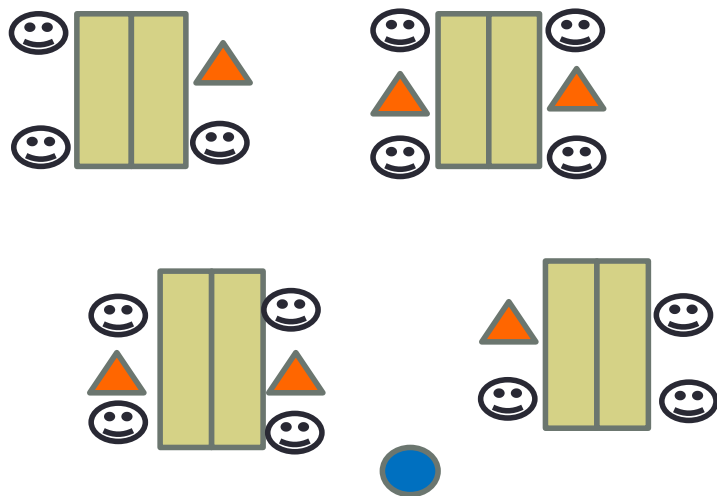
★入門期の学習者への 接し方を学ぶ

- ・プロの日本語教師の授業を観察して学ぶ
- ・学習者の表情や反応を観察して学ぶ
- ・学習者の練習相手やサポートを通じて学ぶ

日本語学習支援者の育成Ⅱ

入門レベルのための日本語教室(金曜日前半)

「ばめんののにほんご(場面会話)」



●【教授者(専門人材)】

- ・学習者がテキストの内容を理解しているか確認し、全体練習

▲【アシスタント(学習支援者)】

- ・ロールモデルの演者
- ・学習者の練習相手・練習補助

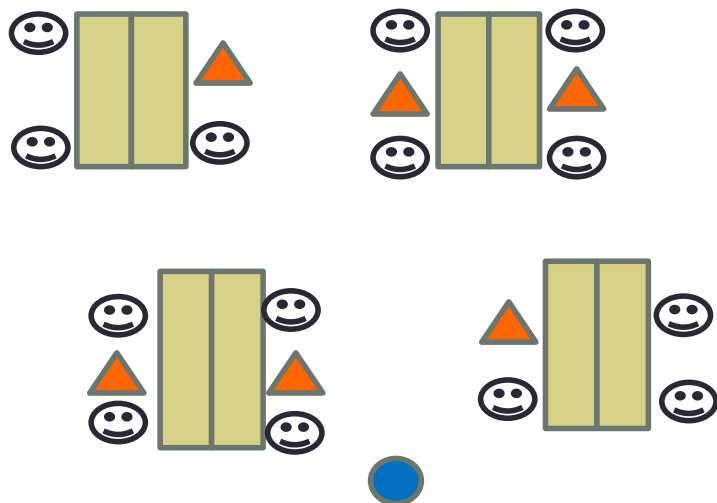
★場面会話のやり方や練習方法、効果を知る

- ・実際にロールプレイを行い、やり方を学ぶ。
- ・学習者との口頭練習を通じて、練習する際の注意点を学ぶ。

日本語学習支援者の育成Ⅱ

入門レベルのための日本語教室(金曜日後半)

「トピック会話(対話型活動、自己表現の日本語~実践~)」



●【教授者(専門人材)】

- ・テーマ提示及び全体コーディネート

▲【アシスタント(学習支援者)】

- ・グループの進行役となり、全体で活動できるよう目配り

★対話型活動の方法を知る
★入門期の学習者への接し方
を实践

- ・「やさしい日本語」や非言語コミュニケーションを实践する。
- ・学習者の言いたいことを先取りせず、「待つ」姿勢を学ぶ。
- ・グループ全体で話せるような進行方法を学ぶ。

成果と今後の課題

	成果	課題	今後
事業全体	さまざまな事業を通じて、地域日本語教室と顔の見える関係を構築できた。	個々の教室が抱える課題を話し合う機会がほとんどない。 堺市の施策や事業を地域日本語教室全体に発信する機会を持っていない。	個々の教室や市域全体の課題を共有し、解決していくために、地域日本語教室との意見交換会を開催予定。
日本語学習支援者育成 ・日本語指導 ボランティア研修 ・入門レベルのための日本語教室	専門人材と連携して研修の企画・運営を実施してきたことにより、人材育成の道筋が描けてきた。	「入門レベルのための日本語教室」で行っている1対複数の指導法の周知や活用促進の取り組みが不十分。	1対複数の活動法について研修会を開催予定。研修時には、「入門レベルのための日本語教室」のアシスタント活動についても案内予定。
日本語学習支援 ・入門レベルのための日本語教室	専門人材との連携により、より有効な授業内容や指導法を構築できている。 日本語指導ボランティアとの連携により、市主催日本語教室から地域や地域日本語教室にスムーズにつながることができている。	採用している指導法や授業形態が特殊であることから、専門人材の確保が難しく、教室の安定運営に不安がある。 ----- 行政内部との連携による事業展開が不十分。	今年度より、専門人材を現在の2名から4名に増やし、教室の安定運営に向けて取り組みを進めている。 ----- 「ごみの出し方講座」、「防災訓練」など、行政内部との連携により実施可能な事業を現在のカリキュラムに組み込むことを検討中。